



タンポポの綿毛は、どのようにできるの

花のときから、綿毛は準備されている

タンポポの花を見つけたら、小さい花びらを一つずつ、そっとひっぱってみましょう。タンポポは、小さい花びらが、じつは一つの花なのです。一つの花びらに、おしべ、めしべ、下の方には、小さい綿毛と種のようなものがくっついているのが、わかるはずですよ。もう、綿毛も準備できているのです。花びらの根もとからは、みつも出ます。

タンポポは、朝6時ごろから花を開き、夕方花を閉じます。花を開くのは、2日間くらいです。花を開くと、昼間、花にやってきた虫たちが、ほかの花のおしべの花粉を、めしべに運んでくれます。

花が咲き終わると、綿毛がのび、種が大きくなる

花が咲き終わったタンポポのくきは、5～6日間ほど、地面近くにたおれたような形です。その間に、種ができ上がり、綿毛がのびているのです。やがて、くきが立ち上がると、3～4日後には、真っ白い綿毛が開きます。綿毛の根もとには、茶色い大きく熟した種がついています。やがて、風に飛ばされて、綿毛は種をぶら下げたまま、遠くへ散らばっていきます。（監修・矢野 亮）

